

ふれっぽ



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 畠山 博次

汚い工場からいい製品は生まれない

校長 畠山 博次



2学期がスタートしてから2週間が経ちました。子どもたちは夏休みの生活リズムから学校の生活リズムへの切り替えをしっかりと行い、毎日の学習に意欲的に取り組んでいます。1年間で最も長い2学期も、子どもたち一人一人のよさや可能性を引き出し伸ばせるよう、職員一丸となって全力を尽くしてまいります。

さて、夏休み中にHONDA（本田技研工業株式会社）のホームページを見る機会がありました。その中で創業者の本田宗一郎氏の次の言葉に強く感銘を受けました。

「環境がよくなけりゃ、働く意欲も落ちる。汚い工場からはいい製品は生まれない。だから、作業衣は白がいいんだ。白は汚れが目立つ。それができるだけ汚れないように、きれいな工場にしなきゃいけないんだ。」

HONDAは1952年5月に白い作業衣を採用し、工場の内部も工作機械もグリーンのツートンに塗り替え、トイレも水洗で白のタイル張りにしました。工場の雰囲気が変わると従業員の気分も変わり、機械の手入れを自然にやるようになったそうです。

本田宗一郎氏の「汚い工場からいい製品は生まれない」という言葉は、環境整備や美化が人の心に影響を与え、大きな成果を生み出すことを示しています。増幌小中学校でも環境整備や美化に努めていますが、児童生徒数や職員数の減少もあってなかなか行き届かない部分もあります。



そこで、まず私たち職員が机上整理を含めて職員室の環境整備をできることから進めていきます。子どもたちにも自分の身の回りの整理整頓を心掛けるとともに、使用する教室や体育館の器具室などの環境整備に取り組んでほしいと思います。

※汚い教室では豊かな学びは生まれません。

※汚い学校では優しく思いやりあふれる心は育ちません。

※整理整頓ができていない学校では安全が確保できません。

この3点を学校全体で共通認識し、「きれいな学校づくり」を基盤として未来をつくる子どもたちの更なる成長を図っていきます。保護者・地域の皆様には、2学期の本校の教育活動の充実に向けて変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

～ご協力ありがとうございます～

前期学校評価の結果より

7月に、児童生徒・保護者・地域・教職員を対象に学校評価アンケートを行いました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。どの項目も、ほぼ学校が目標としております「(4点満点中) 3.0」を超える結果となりました。

■子どもたち・保護者・教職員 のいずれも評価が高かった項目は、

○子どもたちは学級・学年の取組を通して、友だちの「良さ」や一緒に活動することの「良さ」を感じている。

○先生方は子どもたちの気持ちや考え方をきちんと聞いている。

○子どもたちは部活動を通して心と身体が成長していると感じている。

などでした。

■また、地域の方から、以下の感想をいただきました。

○ゴミステーション周辺の草刈りをしていたら、自転車に乗って通りかかった小学生女子2名が道路の向こう側で自転車を止めて「頑張ってください～い！」と声をかけてくれました。とても嬉しかったです。他人を労う気持ちを持つこと、それを素直に表す行動を大切にこれからも成長して欲しいと思います。

今回の結果を励みに、5人の子どもたちの力を更に伸ばしていけるように引き続き努力していきます。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



9月の行事予定

日	曜日	学校行事等
1	金	平和の日記念式典 中3年出席
5	火	ALT プール授業
12	火	PTA役員会
13	水	中3年文協テスト 職員会議
14	木	全校朝会
15	金	稚高体験入学
20	水	委員会活動 稚内養護学校との交流
21	木	宿泊学習(～22日(金))
25	月	中：合同学習
28	木	中：合同学習 中：学習会
29	金	中：合同学習 中：学習会

小学生の夏休み自由研究作品

小学生は夏休みの宿題の一つとして毎年「自由研究」に取り組んでいます。3人の小学生は今年も様々な作品を作ってきました。2学期始業式(8月18日)の日に早速、作品発表会が行われ、「作品を作った理由」や「苦労した点」などを交流しました。普段の生活や授業の中ではなかなかできない取組です。27日間という貴重な時間を使って一生懸命取り組んできました。この気持ちで2学期の学校生活も、いろいろなことに興味・関心をもちながら楽しく、元気に過ごしてほしいと思います。(作品は下の写真です)



レジン ネックレス
小4 山木 玲奈



シーグラスのペン立て(小物入れ)
小4 菅原 縁



パフェのサンプル
小5 渡辺梨衣奈

4年ぶり、そして最後の

ふれあいカーニバル開催！！

8月20日（日）4年ぶりとなる、ふれあいカーニバルが開催されました。保護者・地域のみならず、多方面からも参加をいただき、総勢60名ほどの参加者となりました。

高橋副会長の挨拶で始まったカーニバル。これまでは子どもたちが企画・準備・運営をして様々なゲームコーナーを出店し、会場のお客さんを楽しませてきましたが、今回は最後ということで、増幌子供会やPTAが中心となって行ってきました。

事前に子どもたちにやりたいゲームを聞きながら準備を進めてきました。本番当日は工夫を凝らした出店で、児童生徒や幼児のみならず、高校生や大人たちが楽しいひとときを過ごしました。景品をもらう子どもたちの表情はとてもうれしそうで、会場も温かい雰囲気になりました。

ふれあいカーニバルを運営した「恵北・増幌地区子育て連絡協議会」と子どもたちや地域の方々との「関わり」や「協働」がこの活動において重要な柱となり、学校教育目標とも深く関わることができたと思います。今後とも本校が大切にしている教育活動へのご支援とご理解をよろしくお願いいたします。

ふれあいカーニバルの感想です

■ 今回で本当に最後となるふれあいカーニバルを開催することが出来て、本当に良かったと思っています。久しぶりに子どもたちが地域・OBの方々といれあうことが出来て、みんなで楽しく短い時間でも一緒に過ごせたことは大きなことだと思います。

また、今回は子どもたちも、ずっと遊べるようにしたことで、たくさんの人といれあうことが出来たのではないかと思います。準備では先生方、ふれあい子供会、役員さんに本当にお世話になりました。ありがとうございました。最後となるとさみしいですが、もちつきカルタもあるとよいなと思っています。

■ 地域の方や家族を招いて開催できて良かったです。皆さんが楽しんでいる姿を見られて嬉しく思いました。卒業した子や保護者の方もプチ同窓会のような気分だったかもしれませぬ。楽しい時間をありがとうございました。

■ 楽しかったです。何よりも子どもたちの笑顔がたくさん見る事ができて良かったです。自分が納得するため、何度もチャレンジする姿に感心し、心の中で拍手！ 企画する人、準備する人、参加する人、みんなの力が合わさったカーニバルでした。

・・・お忙しい中、ご感想をお寄せいただきありがとうございます。現在もコロナ禍であり予断を許さない状況ではありますが、文化祭や様々な行事へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

